

平成30年度 ため池ハザードマップ作成事業（新規）

1. 概要

大阪府においては、「ため池防災・減災アクションプラン」により、耐震性の調査・診断及び市町村におけるハザードマップ（自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの）の作成支援に取り組んでいます。

これを受け、堺市においても、豪雨や地震等により決壊した場合に下流の人家や施設などに影響が大きいと予想されるため池を対象として、平成30年度に東区の19ヶ所のため池について、ため池ハザードマップを作成します。

2. ハザードマップのイメージ



ため池ハザードマップ記載事項

記載事項	内 容
ため池の情報	名称、位置、貯水量、施設管理者等
浸水想定区域と被害の形態	範囲、浸水深、集落との距離、被害の形態等
避難場所	避難施設名称、所在地、電話番号等
緊急時の連絡先	市区役所、警察、消防、施設管理者等の電話番号

3. 他都市の状況

大阪府下で作成済みの市町村は、18市町・124ヶ所です。

（平成29年4月現在）

4. 事業効果

- ・地域住民が、災害発生時に迅速かつ的確な避難を行うことが可能となります。
- ・いざという時に落ち着いて行動できるよう安全な避難方法を考える参考となるため、地域住民の防災意識の向上につながります。
- ・防災教育、防災意識の啓発、防災を意識した地域づくりのツールとして活用できるため、地域住民相互のコミュニティ醸成のきっかけとなります。

5. 事業費

10,000千円（負担区分：国100%）